

お客様の声

大学の 授業計画

業務効率化に大活躍！ 業務期間3ヶ月が、3週間に短縮！



[インタビュー] 大学事業部 山田 由貴

[インタビュー] 尚綱学院大学 教務課 課長補佐 佐々木 義則 様

CCS ▶ 導入していただいた経緯をお話いただけますか？

佐々木様 ▶ これまでの時間割編成業務に当たっては、アナログな業務を行ってきました。限られた職員のみで作業を行い、編成した時間割をその都度出力し、教員や教室の重複など確認しながら長い時間をかけて作成してきた経緯があります。教務システムの入替を検討した際、時間割編成業務における作業の効率化が要望として挙がっていました。CCSさんの製品は本学が目指す運用に一番近いということが導入のきっかけとなりました。

CCS ▶ ご採用のきっかけはなんでしょうか？

佐々木様 ▶ 検討段階の時にデモ環境で実際に機能を見せていただきました。大学の時間割は、時間割コマや使用教室の重複を確認しながらドラッグ&ドロップの簡単操作で手軽に編成でき、学科・学年単位で即座に配当状況を確認することができます。また、豊富な帳票により、教室の使用状況や教員出講状況などを一覧表で出力できること、職員間での時間割編成状況の情報共有が図れるなど多くの効率化が実現できると思いました。教務システムとのスムーズなデータ連携やオプション製品も導入の大きなポイントでした。

CCS ▶ 具体的に以前と比較して作業がどのように改善されましたか？

佐々木様 ▶ これまで多くの時間を費やしていた時間割編成業務が滞りなく、比較的短期間で終わることができました。特に今年度は本学でクォーター制度がスタートし、時間割編成がより複雑であったにも関わらず、授業コマや教室の重複がなかったことは期待以上の成果でした。また、導入時に「教務システム」と「大学の時間割」のマスタコードを同じもので運用し始めたことで、双方向のデータ連携がスムーズになり、データの同期が実現されました。これにより、実際に授業がスタートしてから時間割が変更された場合であっても、大学の時間割にも最新の時間割

情報が反映され、その後の定期試験時間割編成オプションにも運用の幅を広げられるようになりました。

CCS ▶ 他に何かおすすめいただけるポイントはありますか？

佐々木様 ▶ 時間割がデータベース化されているので、職員間での情報共有が可能であり、機能も多く、帳票も多いので使いやすさを実感しています。定期試験オプションも効率化につながっています。試験の実施調査が従来の運用と変わらないこともあり、すんなりと導入できました。運用でカバーしている部分もありますが、ほとんど手を加えずそのまま使っております。Web出講オプションも運用方法が定まり、実際に使用していく段階になっています。また、サポートが充実しており、ユーザーの声に柔軟に対応していただいております。

CCS ▶ 大学の授業積算もご検討いただいておりますが、いかがですか？

佐々木様 ▶ 大学の時間割と連携して、持ちコマ数の計算ができるので気になる製品です。予め何をどのような目的でやるのか決めてから実行するので、打合せには十分時間をかけていきたいと思っています。

CCS ▶ 弊社システムがお役に立てていることを嬉しく思います。今後ともよろしくお願いいたします。

追 記

インタビュー中、学生ワークスタディとして学内業務に従事している学生さんの姿を拝見しました。実社会に出る前に、学内でのアルバイトを通じて職業意識や職業観を学びながら人間力を高める機会として利用しているようです。

自分たちのキャンパス環境をより良くするために大学運営へ積極的に携わっており、すばらしい制度だと感じました。

「ふるさと納税勉強会」を開催いたします！

ふるさと納税業務を支援するサービスの一環として、「ふるさと納税勉強会」を開催しております。前回は2017年11月14日に帯広市内ホテルにて開催いたしました。近隣12自治体にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。

勉強会の内容ですが、講師をお招きしての講演や今後のふるさと納税の動向の解説、業務担当者間での情報交換会など、今後の業務のご参考としていただけるようなプログラムにいたしました。

業務担当者間での情報交換会では、各自自治体のお悩みを解消する場として、皆さまからのたくさんのご意見をいただき、活発な議論ができました。

ご希望がございましたら日程を調整して開催いたしますので、お気軽にご相談ください。



地域IT事業部 川端 康仁